登呂博物館国際シンポジウム

日韓における建物遺構の復元整備

<プログラム>

●開会　　司会　篠原和大（静岡大学教授）

●開催にあたって

●基調報告　　通訳　李基星（イ・ギソン）（韓国伝統文化大学副学長）

青柳憲昌（立命館大学教授）
「日本における「復元」の史的展開：建築の文化復元論　」

岡村　渉（静岡市立登呂博物館学芸員）
「登呂遺跡再整備事業における建物遺構復元の考え方と実践　」

谷　直子（九州大学専門研究員）
「日本における建物復元における建築部材の把握と復元の実例　」

韓旭（ハン・ウク）（韓国伝統文化大学教授）
「韓国での建築遺跡復元の歴史　」「한국에서의 건축유적 복원의 역사」

朴書賢（パク・ソヒョン）（扶余郡文化遺産課学芸員）
「今までの松菊里遺跡の遺跡及び遺構復元の流れと今後の方向」
「지금까지의 송국리유적의 유적 및 유구복원의 흐름과 앞으로의 방향」

●討論会　　『建物遺構復元の目指すべきところ』
総合司会：李基星（イ・ギソン）（韓国伝統文化大学副学長）
パネラー／青柳憲昌・岡村　渉・谷　直子・韓旭・朴書賢

主　催　　静岡市立登呂博物館・静岡大学登呂農耕文化研究所・東海大学人文学部

協　力　　韓国伝統文化大学校

開催日時　2026年11月22日（日）　9:30～16:30
会　　場　　登呂博物館1階　登呂交流ホール